

**情報認知科学（木曜4限 鈴木教官） 今年度夏学期の試験について**

今回の夏学期は過去に比べて大幅に情報認知科学の受講人数が増えたので、試験の形式が過去と異なります。

今回の形式の例（持ち込み一切不可、90分）

次の文の X,Y,Z に当てはまる言葉を例を参考にして書きなさい。

例）X 証言の歪みの原因としては Y と Z があげられる

答）X 目撃者,Y ソースモニタリングの失敗,Z 記憶の歪み

5つの文から3つずつの穴埋めで、穴埋めがそれぞれ2点なので  
全体で  $2 \times 3 \times 5 = 30$  点

次の問題の中から3項目を選びなさい。

a) 符号化特定性とは何か、それは人間の記憶に対して何を物語っているか論じなさい。

答）符号化特定性とは記銘時の情報と再生時の情報が一致すればするほど再生率が高くなる事を指す。これは人間の記憶表象が記憶しようと意図した事柄だけでなく状況中の情報と一体になっていることを示している。（96字）

問題によるでしょうがこの程度の字数でもきちんと内容がつかめていればいいそうです。

- 1．認知科学のフレームワーク から2題
  - 2．記憶と情報処理 から2題
  - 3．思考 から2or3題 出す模様です。
- 各10点なので、全体で  $20 \times 3 = 60$  点

この講義から何を学んだかをまとめなさい（10点）。  
これは過去の形式通りです。